



〈息子と2人で行った〉
**アメリカ西部アドベンチャー
 ドライブ旅行の記録(その3)**
**10-Day Adventure Driving Tour
 in the U.S.A. by Nory Koinuma**

(第3回) 地上最大の生物とディズニーランド

今回は、「地上最大の生物」に巡り会ったことと本場のディズニーランドで遊んだ話を紹介します。

1. 第3日 (キングズ・キャニオン&セコイア国立公園～ロサンゼルス)

(1) 「地上最大の生物」がいる国立公園 (Kings Canyon & Sequoia National Parks)

今日の最初の目的地は、ヨセミテ国立公園の200kmくらい南に位置するキングズ・キャニオン国立公園とセコイア国立公園です。これらは一応別々の公園で、国立公園に指定されたのも後者が50年早いのですが、南北に接して隣り合っており、両公園内を貫く1本の道路でつながっているため、ほとんど1つの大きな公園と言っても過言ではありません。両公園の最大の魅力は、世界でもここでしか見られないというセコイアの木 (Giant Sequoia) で、私たちの関心も主にその木を見ることでした。

最初に訪れたのは、キングズ・キャニオン国立公園にある、園内で2番目に大きな木と言われている「グラント将軍の木」(General Grant Tree) です。公園内に入った時点ですでに大きなセコイアの木を何本も見かけていましたが、グラント将軍の木はその中でも特別に大きな木でした。高さは80.3m、幹の太さは最大で12.3mもあり、木のとっぺんの方にある葉はビデオカメラの望遠レンズを通して見ないと1枚1枚を識別できないほどでした。

次に訪れたのは、そこから30kmくらい離れたセコイア国立公園内にある、園内で1番大きなセコイアの木である「シャーマン将軍の木」(General Sherman Tree) です。この木は高さが82.3m、幹の最大直径が11mですが、推定体積1,487m³、推定重量1,385トンは「現存する地上最大の生物」とされています。確かに、その存在感は見る者を圧倒する迫力があり、実際に1枚の写真には収まらない大きさでした。



シャーマン将軍の木

(2) カリフォルニアの田舎町で見た珍しい風景 (Interesting views in California)



カリフォルニアの田舎道を走っていて最初に興味を持ったのは、幹線道路と交差する脇道の入口に並んでいるたくさんの郵便ポストでした。脇道の奥には家がいっぱいあるのですが、あまりにも遠くに点在しすぎて1軒1軒配るのが大変です。郵便局の人は車で幹線道路を通りながら、これらのポストの群れに郵便物を入れていくのでしょうか。ちなみに、写真を撮ろうと停まった場所には36個もポストが並んでいました。

次に私たちの目を引いたのは、荒野の中に突然現れた油田地帯でした。カリフォルニア州はテキサス州と並んで石油が出ることで知られています。道路の両側にたくさんの石油井戸があり、ポンプのアームが休みなく動いている光景はとても印象的でした。

また、荒野に近い牧草地帯に所々現れる果樹園（おそらくグレープフルーツとオレンジ）も不思議な光景でした。道の片側は荒野なのに、反対側には緑があふれているのです。土地の利用法によって景色がまったくちがうという独特の景色を楽しみました。

そして、今日の最終目的地であるロサンゼルスまでの約400kmを一気に走りました。

(3) 「車社会の街」ロサンゼルスの洗礼 (High-way horror in Los Angeles)

ロサンゼルスは公共交通機関があまり整備されていないので、人々はどこへ行くにも車を利用します。したがって、道路整備はとても進んでおり、市内には片側5～7車線もある高速道路が網の目のように巡らされています。

そのロサンゼルス市内に入ったのは、日も暮れた8時過ぎでした。ところが、困ったことにフリーウェイには日本の高速道路のような路面や看板を照らす電灯がありません。前を走る車のテールランプと路面にうっすらと見える車線分離線だけが頼りです。しかも、カーナビは無情にも「右へ行け」「左へ行け」と指示を繰り返すので、猛スピードで走る他の車の間を縫って車線変更を繰り返さなければなりません。今日はすでに600km（東京ー神戸間に相当）以上走っており、私の神経は限界に達していましたが、ここで事故を起こしてしまったら大変です。目を凝らしながらハンドルを握り、息子にも後方確認を手伝ってもらいながら、なんとか9時半には前日に予約しておいたモーターに着きました。しかし、部屋に荷物を持ち込むと、もう夕飯を食べに行く体力も気力もなく、手持ちのお菓子を少し食べただけで、2人ともすぐに寝てしまいました。

2. 第4日（ディズニーランド）

(1) 旅行計画の変更 (Change of the tour plan)

前日に苦勞してロサンゼルスを目指したのには理由がありました。それは、長距離ドライブと国立公園巡りに飽きていた息子に一時の楽しみを与えてあげるためでした。ロサンゼルスといえば、本家本元のディズニーランドやユニバーサル・スタジオなどのアミューズメント・パークがたくさんあります。そこで、前々日の夜に当初の計画を見直し、ラスベガス方面に行くのをやめて、一度ロサンゼルスに寄ることにしたのです。

(2) 楽しく懐かしいディズニーランド ("The" Disneyland)

モーターからディズニー・リゾートまでは車で1時間弱で着きました。ここにはディズニーランドとディズニー・カリフォルニアという2つのパークがありますが、息子と相談して前者に入ることにしました。

入場したのが遅かったこともあり、パーク内はすでに観光客でいっぱいでした。しかし、人気アトラクションの1つである「ビッグ・サンダー・マウンテン」ですら15分待ちで乗れました。息子の希望でアクション系のアトラクションを中心に楽しんだのですが、私が一番乗りたかったのは、東京ディズニーランド（TDL）にはない「インディアン・ジョーンズ・アドベンチャー」でした。しかし、私が一番楽しかったのはTDLでも復活公開されている「キャプテンEO」（マイケル・ジャクソン主演）でした。

なお、この日も前日と同じモーターに連泊し、夜はメキシコ料理を食べました。

